

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

應典院寺町倶楽部

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地アートネットワーク構築プロジェクト

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7 月	○ヒアリング「HPF(ハイスクール・プレイ・フェスティバル)関係者」 概要：7月29日実施。HPFに関わった高校生、教員、ボランティアスタッフに上町台地におけるアトスペースへの関心を調査。結果、ネットワーク化し気軽にアクセスできるようになることに関しては、興味があると答えた回答がほとんどだった。ネットワーク化の必要性を感じるヒアリングであった。
8 月	○シンポジウム「spaceXdrama2007 クロージングトーク」 概要：8月25日実施。spaceXdramaに参加した6劇団の代表者が、上町台地、広くは地域の「まちづくり」における演劇の可能性について語り合った。上町台地の空堀地区をモチーフにした作品作りをした劇団の代表者からの意見や、また、東京から参加した劇団からは、東京におけるアートネットワークの現状が語られ、演劇人の地域への関わりの方への言及がなされた。
11 月	○関連企画「平田オリザ氏による生魂小学校での特別授業」 概要：11月21日実施。関連企画「若手演劇人のための基礎講座」からの運動企画として、應典院がコーディネートしたもので、上町台地の生魂小学校において、平田オリザ氏による演劇を通じての特別授業を実施。地域における学校の役割に着目し、小学生への演劇、アートへののりしろとなった。 ○フィールドワーク企画・運営「日本アートマネジメント学会・エクスカージョン」 概要：11月25日実施。日本アートマネジメント学会に連動させて行ったフィールドワーク。上町台地台地のアトスペースを実際、参加者とともに、自転車で巡り、その距離の近さと上町台地の資源の豊富さを参加者に実感して貰えた。また、アートマネジメント学会と連動することにより、専門家によるレクチャーも同時に行い、その意義と意味を深めることに成功した。加えて、各スペースの担当者にも話を聞くことにより、アトスペース側への意識づけにも成果が見れた。
2 月	○成果公開シンポジウム「上町台地アートネットワーク会議」 概要：2月17日実施。アート関係者、若手演劇人を集め、今年一年の成果を発表。 成果：上町台地におけるアートネットワーク化の要望と必要性を確認。

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	未だ準備段階ではあるが、上町台地におけるアートネットワーク構築の必要性をその中核を担うであろう各アトスペースの担当者やアート関係者、また演劇人に理解いただけた事が、この事業最大の効果であろう。一方、関連企画である「平田オリザ氏による生魂小学校での特別授業」やフィールドワークにより、地域住民へのアートへの関心を意識づけられたことも効果として特筆すべきことである。
今後の展望	各アトスペースを実際に結ぶ活動に着手したい。地域プロデューサーを設置し、各アトスペースを横断する企画を立案、実施する。また、今年、当事業に理解をいただいたアート関係者や演劇人によるボランティア組織をつくり、事業を運営していきたく考える。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。